

運用報告書 (全体版)

第3期<決算日2023年6月5日>

OneグローバルESG厳選株ファンド <DC年金>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2020年6月5日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	OneグローバルESG厳選株ファンド<DC年金>	OneグローバルESG厳選株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	OneグローバルESG厳選株マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。） ^(*) を主要投資対象とします。 ^(*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。） ^{*1*2} に実質的に投資します。 ^{*1} DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。 ^{*2} 株式のほかに、日本を含む世界の不動産投資信託（REIT）にも実質的に投資する場合があります。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として6月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売差益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「OneグローバルESG厳選株ファンド<DC年金>」は、2023年6月5日に第3期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

OneグローバルESG厳選株ファンド<DC年金>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			株式組入率 株比	株式先物率 株比	純資産額
		税金 分	込 配	み 金			
(設定日) 2020年6月5日	円 10,000		円 -		% -	% -	百万円 300
1期(2021年6月7日)	13,088		0		30.9	94.5	1,194
2期(2022年6月6日)	13,973		0		6.8	96.9	2,467
3期(2023年6月5日)	14,788		0		5.8	95.7	3,493

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「株式先物率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	基準価額		株式組入率 株比	株式先物率 株比
		騰	落		
(期首) 2022年6月6日	円 13,973		% -	% 96.9	% -
6月末	13,606	△2.6		96.7	-
7月末	14,107	1.0		97.0	-
8月末	13,950	△0.2		96.7	-
9月末	13,272	△5.0		96.6	-
10月末	14,546	4.1		96.8	-
11月末	14,248	2.0		96.5	-
12月末	13,457	△3.7		95.0	-
2023年1月末	13,541	△3.1		95.8	-
2月末	13,917	△0.4		96.1	-
3月末	13,896	△0.6		96.3	-
4月末	14,235	1.9		96.3	-
5月末	14,502	3.8		95.9	-
(期末) 2023年6月5日	14,788	5.8		95.7	-

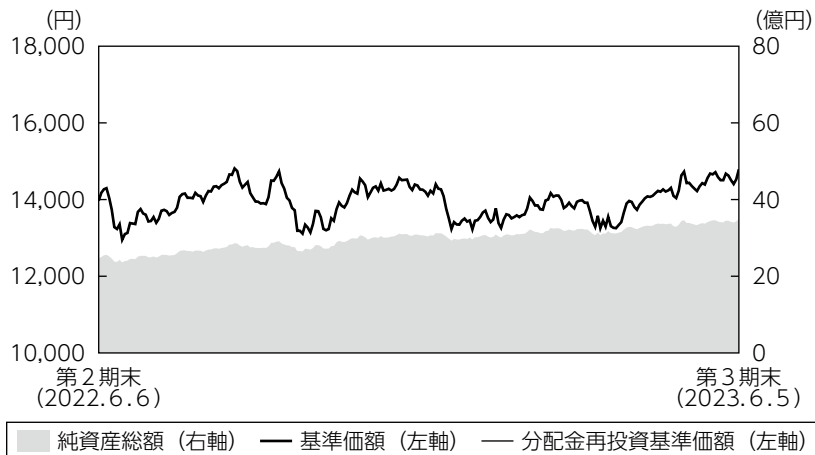
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「株式先物率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2022年6月7日から2023年6月5日まで）

基準価額等の推移



第3期首：13,973円
第3期末：14,788円
(既払分配金0円)
騰落率：5.8%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

期初から2022年10月中旬にかけてはインフレ進行などから軟調な展開となりましたが、その後は堅調な企業決算や中国のゼロコロナ政策解除を受けた景気回復期待、欧米諸国におけるインフレ鈍化を受けた利上げ停止期待の高まりなどを背景に株式市場全体が緩やかに上昇しました。また為替市場においても、主要通貨に対して円安が進行したことを受けて基準価額は上昇しました。

投資環境

外国株式市場は小幅に上昇しました。期初から2022年10月中旬にかけては、インフレ高進を背景に欧米諸国の中央銀行がタカ派姿勢を強めたことや中国の行動制限措置が嫌気され下落しました。その後は堅調な企業決算や、中国のゼロコロナ政策解除を受けた景気回復期待、欧米諸国におけるインフレ鈍化を受けた利上げ停止期待の高まりなどを背景に上昇基調で推移しました。

為替市場では主要通貨に対して円安が進みました。期初から2022年10月末にかけては、日銀と米欧中央銀行の金融政策スタンスの違いを反映して内外金利差が拡大し、概ね円安基調で推移しました。その後、米欧における利上げ幅縮小への期待や日銀による金融政策の修正から円高に推移する局面が見られましたが、2023年1月下旬以降は利上げ観測の継続などから再び円安基調となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

OneグローバルESG厳選株マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用を行いました。

●OneグローバルESG厳選株マザーファンド

期を通じて、ESG課題へ積極的に取り組むことで中長期的な企業価値向上が期待できる銘柄の組入りに注力しました。業種別では、一般消費財・サービスの投資比率を引き下げた一方、ヘルスケアの投資比率を引き上げました。また、組入銘柄のうちESGを主要な要素として選定する銘柄の組入比率を合計100%として運用を行いました。ESGに関する詳細は14ページ以降をご参照ください。

※運用状況については13ページをご参照ください。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった収益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年6月7日 ～2023年6月5日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,787円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、OneグローバルESG厳選株マザーファンドの組入比率を高位に維持するよう運用を行います。

●OneグローバルESG厳選株マザーファンド

今後の株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから短期的には不安定な相場展開が予想されます。当戦略ではESGの観点から銘柄を選別して投資するスタイルを堅持しており、今後もESG課題に積極的に取り組む企業への投資を通じて、将来的な企業価値向上と中長期的な株価リターンが享受できるとの投資哲学に基づいた運用を継続していきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2022年6月7日 ～2023年6月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	188円	1.349%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,944円です。
(投信会社)	(107)	(0.768)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(76)	(0.548)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.012)	
(c) 有価証券取引税	6	0.043	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(6)	(0.043)	
(d) その他費用	10	0.068	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(9)	(0.065)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	205	1.472	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

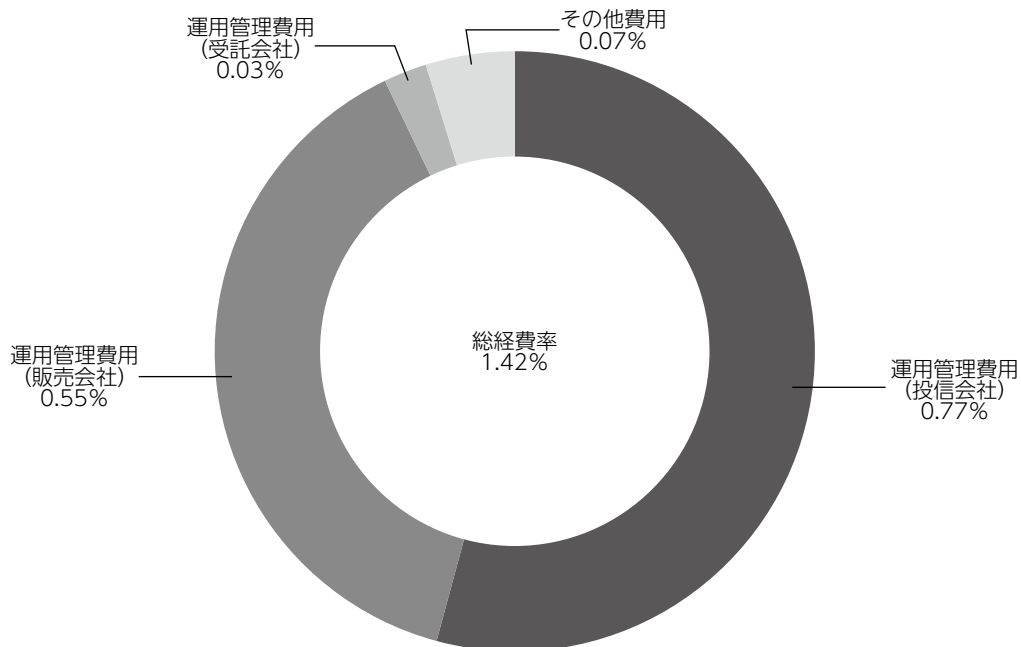
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.42%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年6月7日から2023年6月5日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
OneグローバルESG厳選株マザーファンド	539,380	775,000	-	-

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	OneグローバルESG厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,748,695千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,898,662千円
(c) 売買高比率 (a)/(b)	0.60

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2022年6月7日から2023年6月5日まで）

【OneグローバルESG厳選株ファンド<DC年金>における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.005	百万円 0.005	% 100.0	百万円 0.005	百万円 0.005	% 100.0

【OneグローバルESG厳選株マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
OneグローバルESG厳選株マザーファンド	1,679,989	2,219,369	3,441,576

■投資信託財産の構成

2023年6月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
OneグローバルESG厳選株マザーファンド	3,441,576	97.8
コール・ローン等、その他	76,165	2.2
投資信託財産総額	3,517,742	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2023年6月5日現在、OneグローバルESG厳選株マザーファンドは3,426,461千円、99.6％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年6月5日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=140.18円、1カナダ・ドル=104.37円、1イギリス・ポンド=174.24円、1スイス・フラン=154.01円、1ノルウェー・クローネ=12.72円、1ユーロ=149.89円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,517,742,355円
コール・ローン等	76,165,808
OneグローバルESG厳選株マザーファンド(評価額)	3,441,576,547
(B) 負 債	24,500,797
未払解約金	2,978,227
未払信託報酬	21,466,809
その他未払費用	55,761
(C) 純資産総額(A-B)	3,493,241,558
元 本	2,362,284,991
次期繰越損益金	1,130,956,567
(D) 受益権総口数	2,362,284,991口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,788円

(注) 期首における元本額は1,765,651,103円、当期中における追加設定元本額は1,046,424,334円、同解約元本額は449,790,446円です。

■損益の状況

当期 自2022年6月7日 至2023年6月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△25,720円
受 取 利 息	3,534
支 払 利 息	△29,254
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	237,168,097
買 入 損 益	246,571,403
売 出 損 益	△9,403,306
(C) 信 託 報 酬 等	△40,305,582
(D) 当 期 繰 越 損 益 金(A+B+C)	196,836,795
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	135,553,399
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	798,566,373
(配 当 等 相 当 額)	(337,639,713)
(売 買 損 益 相 当 額)	(460,926,660)
(G) 合 計(D+E+F)	1,130,956,567
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,130,956,567
追 加 信 託 差 損 益 金	798,566,373
(配 当 等 相 当 額)	(339,726,008)
(売 買 損 益 相 当 額)	(458,840,365)
分 配 準 備 積 立 金	332,390,194

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,538,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	149,298,775
(c) 収 益 調 整 金	798,566,373
(d) 分 配 準 備 積 立 金	135,553,399
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,130,956,567
(f) 1万口当たり当期分配対象額	4,787.55
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。

OneグローバルESG厳選株マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2023年6月5日）

（計算期間 2022年6月7日～2023年6月5日）

OneグローバルESG厳選株マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年6月5日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。） ^(*) を主要投資対象とします。 (*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 株比	株式先物率 株比	純資産額
	期騰落	中率			
(設定日) 2020年6月5日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 298
1期(2021年6月7日)	13,325	33.3	97.4	-	1,158
2期(2022年6月6日)	14,433	8.3	98.6	-	2,424
3期(2023年6月5日)	15,507	7.4	97.1	-	3,441

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
		騰	落		
(期 首) 2022 年 6 月 6 日	円 14,433	% -		% 98.6	% -
6 月 末	14,068	△2.5		98.4	-
7 月 末	14,613	1.2		98.6	-
8 月 末	14,464	0.2		98.3	-
9 月 末	13,767	△4.6		98.1	-
10 月 末	15,120	4.8		98.3	-
11 月 末	14,824	2.7		98.2	-
12 月 末	14,004	△3.0		98.0	-
2023 年 1 月 末	14,108	△2.3		98.0	-
2 月 末	14,526	0.6		97.8	-
3 月 末	14,522	0.6		97.7	-
4 月 末	14,899	3.2		97.4	-
5 月 末	15,200	5.3		97.1	-
(期 末) 2023 年 6 月 5 日	15,507	7.4		97.1	-

(注1) 騰落率は期首比です。

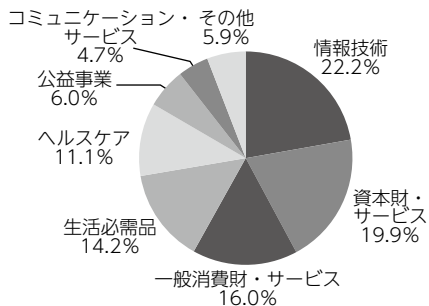
(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

【運用状況】

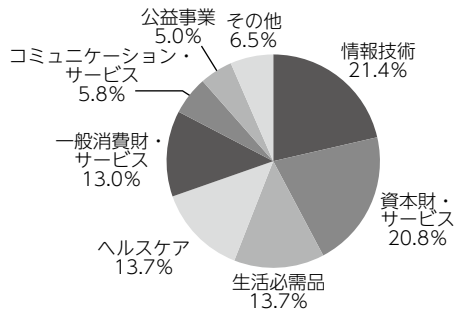
- (注1) 組入比率は純資産総額に対する割合です。
 (注2) 業種は各決算日時点でのGICS（世界産業分類基準）によるものです。
 (注3) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
 (注4) 現金等はその他として表示しています。

○業種別組入比率

期首（前期末）



期末



○組入上位10銘柄

期首（前期末）

No.	銘柄名	通貨	比率
1	KROGER CO	アメリカ・ドル	4.6%
2	HP INC	アメリカ・ドル	4.2
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	3.8
4	CSX CORP	アメリカ・ドル	3.7
5	VERBUND AG	ユーロ	3.7
6	KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	3.6
7	XYLEM INC	アメリカ・ドル	3.4
8	MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	3.4
9	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.2
10	HOME DEPOT INC	アメリカ・ドル	3.2
組入銘柄数		35銘柄	

期末

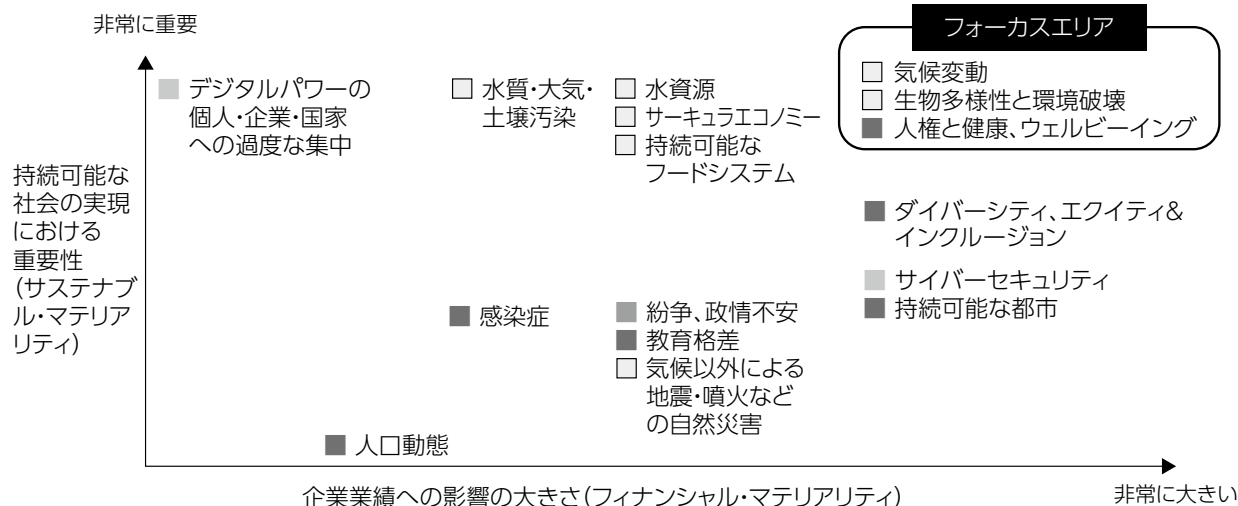
No.	銘柄名	通貨	比率
1	COMPASS GROUP PLC	イギリス・ポンド	5.4%
2	XYLEM INC	アメリカ・ドル	5.2
3	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	5.1
4	KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	4.7
5	VINCI S.A.	ユーロ	4.5
6	MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	4.2
7	MONDELEZ INTERNATIONAL INC	アメリカ・ドル	4.1
8	KROGER CO	アメリカ・ドル	3.9
9	BOSTON SCIENTIFIC CORP	アメリカ・ドル	3.8
10	ELISA OYJ	ユーロ	3.5
組入銘柄数		34銘柄	

※以下のデータは決算日（2023年6月5日）時点のものです。

《 ESGレーティング、ESGスコアを活用した組入銘柄選択》

アセットマネジメントOne（以下、当社）が独自に算出したESGスコア（以下、ESGスコア）を活用してOneグローバルESG厳選株マザーファンド（以下、マザーファンド）の組入銘柄を選択しました。ESGスコアは、当社が定めるマテリアリティマップ（持続可能な社会の実現に向けた重要性和企業業績への影響の大きさを勘案し、当社として考える取り組むべき環境・社会の課題を捉えたもの）を基に、当社が重視するグローバルな環境・社会課題への企業の取り組みを評価し点数化したものです。算出されたESGスコア（10が最良で0まで付与）は、ESGレーティング（Aが最良でFまで付与）に変換されます。

マテリアリティ・マップ(イメージ図)



上記は、決算日現在の当社のマテリアリティ・マップにおける当社がフォーカスエリアと位置付ける社会課題と、その他の社会課題から一部抜粋した課題をもとに作成したイメージ図です。マテリアリティ・マップおよびフォーカスエリアは、社会環境等によって変更する場合があります。

※上記の内容は、決算日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

ESGレーティング・ESGスコアは、サステナビリティの観点とフィナンシャルの観点の両方から投資において重要と判断された課題を評価対象としています。それらは主に下図に示される課題です。



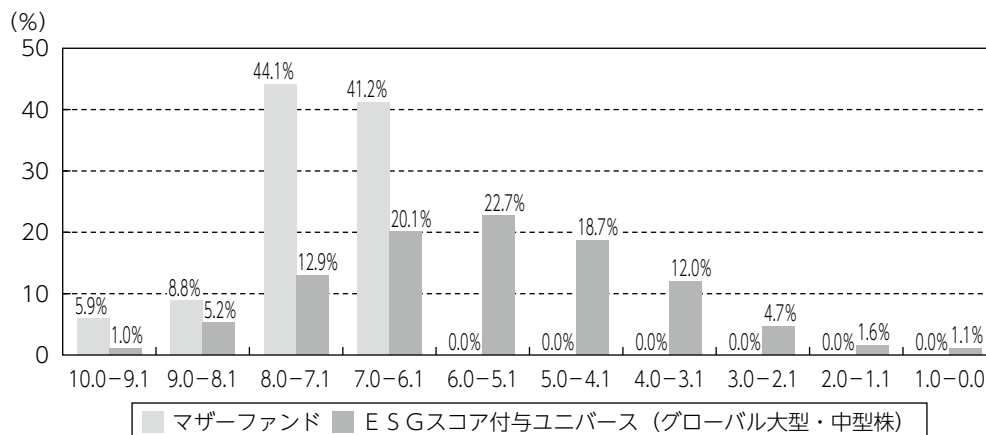
※上記課題は、決算日時点のものであり、社会環境等によって変更する場合があります。

《E S Gスコアの分布》

E S Gスコアを用いたマザーファンドのE S Gスコア構成銘柄数分布は、上位スコアの10-7.1点の範囲において、E S Gスコア付与ユニバース（グローバル大型・中型株）の分布に比較してその割合が大きく上回りました。これは、マザーファンドの投資プロセスにおいて、E S Gレーティングのスコア上位1,000社を投資可能ユニバースとしていることが背景にあります。このことにより、E S Gの取り組みがより優れた企業群によってマザーファンドが構成されていることが確認できます。

なお、当期末のE S Gスコア付与ユニバース（グローバル大型・中型株）の付与数は2,118社です。

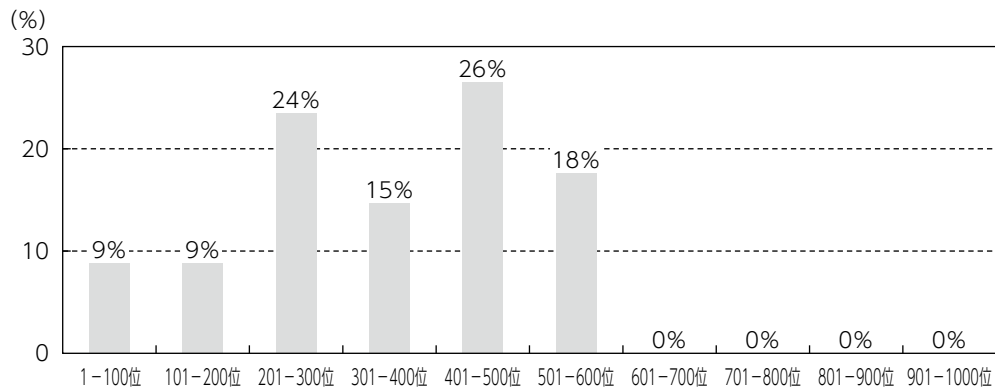
マザーファンドと当社E S Gスコアユニバース（グローバル大型・中型株）のE S Gスコア分布比較（銘柄数の比率）



※比率 (%) は、マザーファンド組入銘柄数および当社のE S Gスコア付与ユニバース銘柄数（グローバル大型・中型株）をそれぞれの分母として算出
出所：アセットマネジメントOne

また、マザーファンド構成銘柄のすべてが同スコア上位1,000社以内であることが以下のE S Gスコアランキングの分布によって確認できます。当期末において、マザーファンド組入銘柄の100%がE S Gスコア600位よりも高いランキングの銘柄によって構成されていました。なお、当ランキングはE S Gスコア付与ユニバース銘柄数（グローバル大型・中型株）2,118社内でのランキングです。

マザーファンド組入銘柄のE S Gスコアランキング分布



※比率 (%) は、マザーファンド組入銘柄数を分母として算出
出所：アセットマネジメントOne

《マザーファンド保有上位10銘柄のESGスコア・ランキング・レーティング》

No.	銘柄名	国	業種	比率	ESG総合スコア	環境	社会	ガバナンス	ESGスコア ランキング ※	ESG総合 レーティング
						(E)	(S)	(G)		
1	COMPASS GROUP PLC	イギリス	一般消費財・サービス	5.4%	7.7	6.6	5.4	8.3	203	B
2	XYLEM INC	アメリカ	資本財・サービス	5.2%	8.3	8.8	5.7	6.3	93	A
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	5.1%	7.4	7.4	6.6	5.6	297	B
4	KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	アメリカ	情報技術	4.7%	6.8	6.3	5.0	7.3	497	B
5	VINCI S.A.	フランス	資本財・サービス	4.5%	7.0	8.1	4.4	5.7	416	B
6	MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ	一般消費財・サービス	4.2%	6.9	7.3	6.2	5.1	485	B
7	MONDELEZ INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	4.1%	7.1	6.6	7.3	5.4	397	B
8	KROGER CO	アメリカ	生活必需品	3.9%	6.9	5.7	7.3	6.0	471	B
9	BOSTON SCIENTIFIC CORP	アメリカ	ヘルスケア	3.8%	6.9	5.8	8.0	5.1	461	B
10	ELISA OYJ	フィンランド	コミュニケーション・サービス	3.5%	6.7	6.1	5.8	6.4	546	B

※ ESGスコア付与ユニバース銘柄数（グローバル大型・中型株）2,118社内でのランキング
出所：アセットマネジメントOne

《マザーファンド保有上位5銘柄の概要、ESGへの取り組み／企業価値との結びつき》

銘柄名	概要	ESGへの取り組み／企業価値との結びつき
COMPASS GROUP PLC コンパスグループ	グローバルにオフィスの社食などの企業向けサービス、学校給食や教育機関向けの学食、病院や老人ホームでのフードサービスを提供。	<ul style="list-style-type: none"> ・特に米国や英国などでは肥満率が上昇する中、同社はバランスの取れた食事を提供するプログラムが充実しており、健康的で栄養価の高い食品を求める市場の拡大に対応できる体制が整っている。 ・同社はほぼすべての国で砂糖、塩、脂肪が少ないプログラムを通じて健康的な選択肢を提供し、健康的な製品に幅広く関わる小規模企業の買収にも力を入れている。 ・“Balanced Choices” というプログラムでは全商品に対して栄養表示を行っており、“Whole+Sum” と呼ばれるメニューではある一定のカロリーの下でタンパク質、炭水化物、野菜、果物を組み合わせて提供するなど、消費者の栄養ニーズに対して積極的に取り組んでいる。

銘柄名	概要	E S Gへの取り組み／企業価値との結びつき
XYLEM INC ザイレム	米国の「水」に関連する設備・計測機器のリーディングカンパニー。グローバルにビジネスを展開し、公益をはじめとする幅広い産業に顧客を有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の100%がクリーンテック（水事業）関連であり、産業機械として様々なクリーンテクノロジー製品やサービスへのアクセスを提供することができる。 ・ユネスコの報告書では、2050年までに世界人口の約半数が絶対的な水不足に陥ると予測されている中、同社の取り組みが改善に貢献すると期待できる。 ・N P Oと協力し、水に関するノウハウを活かし、水災害リスクの軽減や新興国における水へのアクセスの提供などに取り組む。 ・同社は水問題の解決に取り組む企業として自分たちの水の使用量削減と環境影響モニタリング、サプライヤーとの協働による梱包材の削減、リサイクル・リユース活動の強化などをサステナビリティ戦略の中心に据えている。
MICROSOFT CORP マイクロソフト	多国籍コンピュータ企業。P CのO Sである「Windows」や業務用ソフトウェアである「Office」が圧倒的なシェアを獲得しており、クラウドサービス「Azure」も提供。	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年までにカーボンネガティブ（CO₂削減量が排出量を上回る）達成を目標に設定。オンデマンドでの計算処理や貯蔵のためにカーボンニュートラルなデータセンターへの投資やクリーンテクノロジーへの投資による収益拡大機会を提供している。また、顧客のサステナビリティに関するデータ収集や集約を効率化するクラウドサービスも提供。 ・マイクロソフトは気候変動対策が進む中においての人材のスキルギャップ解消が重要と考え、ボストンコンサルティンググループと協働で、同社を含む15社の従業員約250人にサステナビリティスキルギャップの解消に向けて取材・調査を実施した。また、傘下のLinkedInチームは、グリーンスキルを持つ人材の需給への重要で実用的な知見を提供し、環境分野における求職者が簡単にGreen Jobを見つけられるなど、求人企業と求職者がつながりやすいプラットフォームを提供している。これらの取り組みは、自社の人材のサステナビリティトランジションと社会のサステナビリティ人材マッチングを促進させ、LinkedIn事業の価値を向上させると考える。

銘柄名	概要	E S Gへの取り組み／企業価値との結びつき
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC キーサイトテクノロジー	グローバルシェアNo.1の測定機器メーカー。5G、6G、半導体など様々な先端技術の開発・製造等において必要不可欠な効果測定を行うソリューションを提供。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2040年までに二酸化炭素排出をネットゼロにする目標を設定。 ・ 同社は広範囲に社会を支える通信インフラ産業において、顧客の製品を「テストする」ソリューションを提供。顧客の目的はより効率的で電気・電波効率が低い製品を提供することであり、同社のテストソリューションはその活動を支える重要な位置づけとなる。 ・ 通信ソリューションは通信の世代毎にサービスが更新されていくサイクルが長いビジネスモデル。従って、製品の再利用が可能なビジネスモデルであり、設計時点から再利用を前提としたモデルを進めることでリファービッシュサイクルを確立することが可能。
VINCI S.A. ヴァンシ	コンセッションおよび建設事業を行うフランスの会社。高速道路、空港運営等、フランスと海外の各種インフラストラクチャーを含む事業に従事。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2030年までに2018年対比でGHG排出量（Scope 1と2）を40%削減することにコミット。またScope 3についても2019年対比で20%削減することにコミット。科学的根拠に基づく目標イニシアティブ（SBTi）によって支持されている。 ・ 既存のポートフォリオに買収などを通じてサステナビリティに特化した特徴を統合するといった取り組みを行っている。 <p>例) 2021年12月に再生可能エネルギービジネスを行っているGrupo ACSの買収を完了させ、同社がコンセッションを行っている高速道路向けにEVの充電ステーションを設置するなどに取り組んでいる。</p>

※ 上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて今後も上記銘柄の保有を継続するとは限りません。

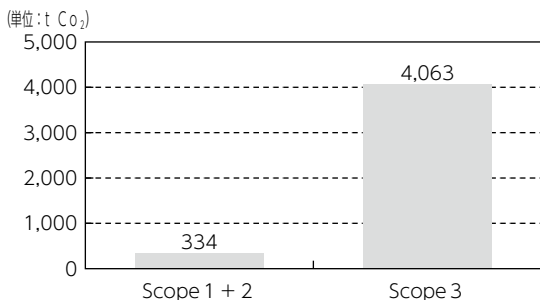
《マザーファンドにおけるカーボン排出量分析について》

当社では環境（E）の観点から、マザーファンドのカーボン排出量をモニタリングしており、ファンドベースで気候変動リスクの低減に努めています。カーボン排出量は、企業の自社事業活動から排出される温室効果ガスであるScope 1（燃料の使用や自社の輸送などによる）と、企業が購入した電力および熱によって排出された温室効果ガスであるScope 2、および企業のサプライチェーンである上流や製品・サービスの利用時に発生する下流の温室効果ガス（Scope 3）の3種類があります。

マザーファンドのScope 1およびScope 2の値は、334 t C o₂であり、上流・下流の排出量（Scope 3）は4,063 t C o₂でした（下記グラフ参照）。なお、カーボン排出量は I S S*のデータを利用して算出しています。（ I S Sは企業開示がない場合には同社の算定基準によって推計された情報を使用しています。）

*Institutional Shareholder Services Inc.

マザーファンドにおけるカーボン排出量計測値 (Scope 1 + 2 およびScope 3)



(出所) I S Sのデータを基に当社にて作成

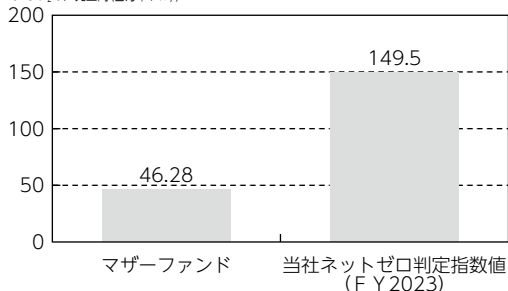
《マザーファンドにおけるカーボン排出量インテンシティについて》

環境（E）の観点から、当社がマザーファンドのネットゼロ適合性判定のためにモニタリングしている加重平均カーボン排出量インテンシティ*は、46.28 t Co₂e/売上高（百万米ドル）でした。この数値は、当社がファンドごとのネットゼロ適合性判定のために定めているネットゼロ判定基準の指数値（マーケットのネットゼロ適合性を表す数値）の149.5 t Co₂e/売上高（百万米ドル）よりも低く、当社のネットゼロ適合性判定手法に基づいて、ネットゼロに適合しているファンドであると判断されます。

*カーボン排出量インテンシティ：企業による二酸化炭素排出量を売上高（百万米ドル）で除したもの

マザーファンドにおける加重平均カーボン排出量インテンシティと 当社ネットゼロ判定指数値

（単位：t Co₂e/売上高百万米ドル）



（出所） I S S のデータを基に当社にて作成

I S S のデータを基に作成した情報は、Institutional Shareholder Services Inc.に帰属します。書面による事前の許可なく、本情報の全部または一部の複製または再頒布を禁じます。また、本情報に関して明示的または黙示的な保証または表明を行うものではありません。

《当社のエンゲージメント*、議決権行使の考え方および実施した行動》

当社は、中長期的な企業価値の向上、持続可能な社会と経済、およびウェルビーイングの実現のため、投資先企業へのエンゲージメントが重要であると考えます。投資先企業へのエンゲージメントにあたっては、気候変動、生物多様性・環境破壊、人権・健康とウェルビーイングを含む社会課題の解決を通じた企業価値創造と、リスク面だけではなく「リターン＝事業機会の拡大」という観点を重視しており、実際にそのようにエンゲージメントを行ってきました。

また、当社は、エンゲージメントが実効的であること、すなわち企業の事業活動へ実際に変化をもたらすことを重視します。課題に応じて、当該企業のみならず、業界団体や官公庁等の関連したステークホルダーとの対話や、必要に応じて他の投資家と連携することにより、エンゲージメントの実効性を高めてきました。また、ESG課題についての対話の内容や進捗は、議決権行使に反映することで、実態に即した効果的な企業への働きかけを行ってきました。

当社では、スチュワードシップ活動を行い、社会の資源が最適に配分されることを促すことで、社会課題の解決と投資先企業の持続的な企業価値向上の実現を目指してまいります。スチュワードシップ責任を果たす上で、議決権行使を最も重要な取り組みの一つとして位置付けています。実際の議決権行使にあたっては、持続的な社会の発展と企業価値向上の同時実現に向け、企業経営が行われるよう議決権を行使しました。

* 「エンゲージメント」とは、企業と建設的な目的をもった対話を行うことで、企業価値の向上や持続的な成長、企業が抱える課題の解決などを促すための活動です。

※詳細については、以下の当社ホームページをご覧ください。

<http://www.am-one.co.jp/company/sscode/>

<http://www.am-one.co.jp/company/voting/>

今後の運用方針

今後の株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから短期的には不安定な相場展開が予想されます。当戦略ではE S Gの観点から銘柄を選別して投資するスタイルを堅持しており、今後もE S G課題に積極的に取り組む企業への投資を通じて、将来的な企業価値向上と中長期的な株価リターンが享受できるとの投資哲学に基づいた運用を継続していきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2円 (2)	0.013% (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	6 (6)	0.043 (0.043)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	10 (10) (0)	0.066 (0.066) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	18	0.122	
期中の平均基準価額は14,508円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2022年6月7日から2023年6月5日まで)

株 式

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
外 国 株 式	ア メ リ カ	716.47 (-)	千アメリカ・ドル 5,367 (-)	366.7	千アメリカ・ドル 2,089	
	カ ナ ダ	20.58 (-)	千カナダ・ドル 325 (-)	19.5	千カナダ・ドル 308	
	イ ギ リ ス	298.67 (-)	千イギリス・ポンド 852 (-)	31.64	千イギリス・ポンド 161	
	ス イ ス	2.5 (-)	千スイス・フラン 135 (△1)	-	千スイス・フラン -	
	ユ	オ ラ ン ダ	18.48 (△18.48)	千ユーロ 231 (-)	-	千ユーロ -
		フ ラ ン ス	237.07 (-)	千ユーロ 1,166 (-)	8.54	千ユーロ 337
	ド	イ ツ	2.67 (-)	千ユーロ 18 (-)	123.02	千ユーロ 501
		ス イ ス	10.19 (18.48)	千ユーロ 117 (-)	-	千ユーロ -
		ス ペ イ ン	229.22 (977.76)	千ユーロ 240 (-)	977.76	千ユーロ -
		フ ィ ン ラ ン ド	60.08 (-)	千ユーロ 313 (-)	-	千ユーロ -
口	オ ー ス ト リ ア	13.58 (-)	千ユーロ 123 (-)	14.71	千ユーロ 122	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,748,695千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,898,662千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.60

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2022年6月7日から2023年6月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D / C
金 銭 信 託	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細
外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期		末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
INTL BUSINESS MACHINES CORP	41.81	55.73	737	103,449		情報技術サービス
ADOBE INC	11.7	11.62	507	71,079		ソフトウェア
BAXTER INTERNATIONAL INC	53.92	56.43	233	32,693		ヘルスケア機器・用品
BOSTON SCIENTIFIC CORP	-	179.05	927	130,064		ヘルスケア機器・用品
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	70.94	109.54	719	100,823		医薬品
CSX CORP	211.67	165.72	528	74,152		陸上運輸
THE WALT DISNEY CO	31.74	64.61	586	82,210		娯楽
EBAY INC	101.9	111.63	495	69,462		大規模小売り
ESTEE LAUDER COS INC/THE	19.23	16.43	309	43,366		パーソナルケア用品
HP INC	197.82	132.86	405	56,897		コンピュータ・周辺機器
HOME DEPOT INC	19.47	11.57	342	47,997		専門小売り
JOHNSON & JOHNSON	39.45	53.7	842	118,161		医薬品
KROGER CO	163.07	206.65	948	133,021		生活必需品流通・小売り
MCDONALD'S CORPORATION	25.2	35.92	1,041	145,977		ホテル・レストラン・レジャー
MICROSOFT CORP	22.27	37.58	1,260	176,687		ソフトウェア
QUALCOMM INC	34.91	43.93	507	71,200		半導体・半導体製造装置
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	80.94	136.42	1,013	142,029		食品
STANLEY BLACK & DECKER INC	30.12	-	-	-		機械
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	49.44	53.51	577	80,996		資本市場
XYLEM INC	74.18	122.06	1,282	179,761		機械
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	45.96	70.55	1,151	161,459		電子装置・機器・部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,325.74 20銘柄	1,675.51 20銘柄	14,420 -	2,021,492 <58.7%>	
(カナダ)	百株	百株	千カナダ・ドル	千円		
CANADIAN NATL RAILWAY CO	43.15	44.23	698	72,928		陸上運輸
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	43.15 1銘柄	44.23 1銘柄	698 -	72,928 <2.1%>	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円		
ASHTED GROUP	108.93	108.86	556	96,963		商社・流通業
COMPASS GROUP PLC	259.95	479.8	1,058	184,505		ホテル・レストラン・レジャー
UNILEVER PLC	75.69	97.56	395	68,955		パーソナルケア用品
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	53.89	76.59	483	84,180		家庭用品
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	34.15	36.83	411	71,744		機械
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	532.61 5銘柄	799.64 5銘柄	2,906 -	506,350 <14.7%>	
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円		
LONZA GROUP AG-REG	7.41	9.91	581	89,559		ライフサイエンス・ツール/サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	7.41 1銘柄	9.91 1銘柄	581 -	89,559 <2.6%>	
(ユーロ…フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円		
CAPGEMINI SA	24.27	38.11	639	95,795		情報技術サービス

銘 柄	期 首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ユーロ…フランス) VINCI S.A. KERING BUREAU VERITAS SA	百株 55.45 5.3 -	百株 96.72 -	千ユーロ 1,040 -	千円 155,962 -	建設・土木 繊維・アパレル・贅沢品 専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	85.02 3銘柄	313.55 3銘柄	2,117 -	317,443 <9.2%>
(ユーロ…ドイツ) PUMA AG COVESTRO AG	百株 51.34 69.01	百株 -	千ユーロ -	千円 -	繊維・アパレル・贅沢品 化学
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	120.35 2銘柄	- 1銘柄	- -	- <- %>
(ユーロ…スイス) DSM-FIRMENICH AG	百株 -	百株 28.67	千ユーロ 297	千円 44,615	化学
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	- 1銘柄	28.67 1銘柄	297 -	44,615 <1.3%>
(ユーロ…スペイン) IBERDROLA SA	百株 382.28	百株 611.5	千ユーロ 708	千円 106,139	電力
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	382.28 1銘柄	611.5 1銘柄	708 -	106,139 <3.1%>
(ユーロ…フィンランド) ELISA OYJ	百株 91.23	百株 151.31	千ユーロ 792	千円 118,751	各種電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	91.23 1銘柄	151.31 1銘柄	792 -	118,751 <3.5%>
(ユーロ…オーストリア) VERBUND AG	百株 65.41	百株 64.28	千ユーロ 437	千円 65,565	電力
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	65.41 1銘柄	64.28 1銘柄	437 -	65,565 <1.9%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	2,653.2 35銘柄	3,698.6 34銘柄	- -	3,342,845 <97.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する各通貨別（ユーロは国別）株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2023年6月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 3,342,845	% 97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	98,735	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	3,441,581	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、3,426,461千円、99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年6月5日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=140.18円、1カナダ・ドル=104.37円、1イギリス・ポンド=174.24円、1スイス・フラン=154.01円、1ノルウェー・クローネ=12.72円、1ユーロ=149.89円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,441,581,007円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	91,255,043
株 式(評価額)	3,342,845,495
未 収 配 当 金	7,480,469
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,441,581,007
元 本	2,219,369,670
次 期 繰 越 損 益 金	1,222,211,337
(D) 受 益 権 総 口 数	2,219,369,670口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,507円

(注1) 期首元本額 1,679,989,247円

追加設定元本額 539,380,423円

一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳

OneグローバルESG厳選株ファンド<DC年金>

2,219,369,670円

期末元本合計 2,219,369,670円

■損益の状況

当期 自2022年6月7日 至2023年6月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	58,675,958円
受 取 配 当 金	57,723,106
受 取 利 息	958,354
そ の 他 収 益 金	187
支 払 利 息	△5,689
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	185,100,901
売 買 益	448,158,691
売 買 損	△263,057,790
(C) そ の 他 費 用	△1,951,865
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	241,824,994
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	744,766,766
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	235,619,577
(G) 合 計(D+E+F)	1,222,211,337
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,222,211,337

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。